



《熊本産業保健総合支援センターメールマガジン》

第188号(令和4年3月1日)



《コンテンツ》

◇令和3年度産業保健研修会について

◇いろいろなお知らせ

1. 特殊健康診断実施機関一覧を更新
2. 地域産業保健センターのご案内
3. 新型コロナウイルス感染症に関する情報

◇主な行政の動き

【厚生労働省】

1. 労働安全衛生法に基づく安全データシート（SDS）の記載に係る留意事項について
2. 除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン等の改正について
3. 「職場のハラスメント対策シンポジウム」アーカイブ動画掲載
4. 「良い睡眠で、からだもこころも健康に。」特設Webコンテンツの公開
5. 「女性の健康週間」特設ホームページ「みんなで知ろう。婦人科のこと～婦人科って何するところ？～」公開
6. 令和4年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します
7. 職場復帰する際に職場等に対する陰性証明等の提出が不要であることについて

【熊本労働局】

1. 「働き方改革」等資料の掲載のご案内

【熊本市】

1. 毎年3月の第2木曜日は「世界腎臓デー」

◇労災疾病等医学研究普及サイトの御案内
「予防医療モデル事業」

◇コラム「熱闘スポーツ観戦」

◇編集後記

◇ 令和3年度 産業保健研修会について

産業保健スタッフ(産業医・保健師・看護師・衛生管理等)のみならず、労働者・事業主或いは、産業保健に関して興味をお持ちの多くの皆さまのご参加をお待ち

しています。

令和3年度産業保健研修会（詳細・お申込み）

<https://kumamotos.johas.go.jp/seminar/index.php>

※お申込みの受付期間がございますので、ご注意ください。

※状況により、変更・中止することがあります。

研修参加時には新型コロナウイルス感染予防対策のため、必ず留意事項をお読みください。

※研修会ご参加時の留意事項について

<https://kumamotos.johas.go.jp/documents/caution.pdf>

延期開催について

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20211117152250.html>

【オンライン研修】※日本医師会認定産業医生涯研修対象ではございません。

＜＜■■■■■令和4年3月の予定■■■■■＞＞

日 時:3月18日(金)14:00~16:00

研修テーマ:

1. 衛生委員会を活性化させるために
2. 改正されたTHP（心と体の健康づくり）指針を理解し、効果的な取組みを考えましょう

講 師:センター職員

【産業医研修】

※日本医師会認定産業医生涯研修対象の研修として現在申請中です。

※ホームページでは、研修名にハートの記号が付いている研修となります。

＜＜■■■■■令和4年3月の予定■■■■■＞＞

日 時:3月3日(水)14:00~16:00 【定員になりました】

会 場:センター会議室

研修テーマ:

「食」から始める生活習慣病予防対策【産医単位：専門2】

講 師:藤井しのぶ

日 時:3月3日(水)18:30~20:30 【定員になりました】

会 場:センター会議室

研修テーマ:

非感染性疾患（NCD）の予防ーがん、循環器疾患、糖尿病、COPDー【産医単位：専門2】

講 師:大森久光



いろいろなお知らせ

1. 特殊健康診断実施機関一覧を更新
ホームページに掲載のお役立ち情報ー特殊健康診断実施機関一覧を更新いたしました。最新版は令和4年1月26日付です。
閲覧しても変わっていない場合は、キーボードの「F5」を押すか、ブラウザで

右クリックで「最新の情報に更新」をクリックしてください。

<https://kumamotos.johas.go.jp/useful.shtml#20180704003925>

2. 地域産業保健センターのご案内

地域窓口（地域産業保健センター）は、労働者数50人未満の小規模事業場の事業者や労働者に対して、次の事業を原則として無料で提供しています。

- (1) 労働者の健康管理（メンタルヘルスを含む）に係る相談
- (2) 健康診断の結果についての医師からの意見聴取
- (3) ストレスチェックに係る高ストレス者や長時間労働者に対する面接指導
- (4) 個別訪問による産業保健指導の実施
- (5) その他 労働者の健康管理や産業保健に関するご相談を受け付けています。

<https://www.kumamotos.johas.go.jp/areamed.shtml>

- ・阿蘇地域産業保健センター
Tel 0967-34-1177 Fax 0967-34-1619
- ・有明地域産業保健センター
Tel 0968-72-3050 Fax 0968-82-8844
- ・天草地域産業保健センター
Tel 0969-25-1236 Fax 0969-24-4126
- ・菊池鹿本地域産業保健センター
Tel 0968-23-1210 Fax 0968-23-1211
- ・熊本地域産業保健センター
Tel 096-366-6788 Fax 096-366-6788
- ・人吉球磨地域産業保健センター
Tel 0966-22-3059 Fax 0966-22-3059
- ・八代水俣地域産業保健センター
Tel 0965-39-9531 Fax 0965-39-9532

3. 新型コロナウイルス感染症に関する情報

※情報は随時更新されております。最新の情報をご確認ください。

<https://kumamotos.johas.go.jp/useful.shtml>

※新型コロナウイルス感染症対策にリンク集を掲載しました
【労働者健康安全機構】

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20201126132727.html>

◇ 主な行政の動き

【厚生労働省】

1. 労働安全衛生法に基づく安全データシート（SDS）の記載に係る留意事項について
本年度以降新たに労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第57条、第57条の2及び第57条の3による規制対象の候補となる化学物質（国によるGHS（化学品の分類及び表示に関する世界調和システム）分類の結果、危険性または健康有害性の区分がある物質）について、義務化予定年度とともに独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所のHPに公開されました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20220202132704.html>

2. 除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン等の改正について
令和4年2月から令和8年1月までの3箇月ごとの期間について、土壌等の放射能濃度の簡易測定に関する係数を追記するなどガイドラインが改正されました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20220207142552.html>

3. 「職場のハラスメント対策シンポジウム」アーカイブ動画掲載

令和3年12月10日開催「ハラスメント対策シンポジウム」アーカイブ動画が、ポータルサイト「あかるい職場応援団」のサイトで公開されました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20220208165359.html>

4. 「良い睡眠で、からだもこころも健康に。」特設Webコンテンツの公開について
厚生労働省では、心身の健康と睡眠をテーマにした特設Webコンテンツ「良い睡眠で、からだもこころも健康に。」を「スマート・ライフ・プロジェクト」※公式サイト内に公開されました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20220222094308.html>

5. 「女性の健康週間」特設ホームページ「みんなで知ろう。婦人科のこと～婦人科って何するところ？～」公開
このたび、今年度の「女性の健康週間」の実施にあわせ、特設ホームページ「みんなで知ろう。婦人科のこと～婦人科って何するところ？～」が「スマート・ライフ・プロジェクト」公式サイトに公開されました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20220224082522.html>

6. 令和4年「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します
～今年度は、緊急時の対応体制の整備、暑熱非順化者の把握、WBGT値の実測に着目～
厚生労働省は、職場における熱中症予防対策を徹底するため、労働災害防止団体などと連携し、5月から9月まで、「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20220224170520.html>

7. 職場復帰する際に職場等に対する陰性証明等の提出が不要であることについて
今般、新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードの有識者委員より提出された提言において、事業所等には療養修了時の陰性証明書等の公式証明書の発行を求めないよう要請する旨の内容が盛り込まれたこと等を踏まえ、令和4年2月9日付けで「新型コロナウイルス感染症対応に係る保健所等による健康観察等について」（厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡。別添）が発出され、「陽性者の療養期間又は濃厚接触者の待機期間については、定められた日数を経過した場合には、療養・待機を修了することとし、（略）解除された後に職場等で勤務を開始するに当たり、職場等に医療機関・保健所等による退院若しくは宿泊・自宅療養の証明又はPCR検査等若しくは抗原定性検査キットによる陰性証明書等を提出する必要はないこと。」とされました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20220224155818.html>

【熊本労働局】

1. 「働き方改革」等資料の掲載のご案内

熊本労働局のホームページに以下の資料が掲載されました。

- ・新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置について対象期間が令和4年3月31日まで延長されます

- ・母性健康管理措置に係る特別相談窓口
- ・小学校休業等対応助成金に関する特別相談窓口のご案内
- ・改正女性活躍推進法に対する準備はできていますか！
- ・令和4年4月1日から女性活躍推進法に基づく行動計画の策定・届出、情報公開が101人以上 300人以下の中小企業にも義務化されます
- ・「シフト制」労働者の雇用管理を適切に行うための留意事項
- ・「シフト制」労働者の雇用管理を適切に行うための留意事項（労働者向け）
- ・女性の活躍・両立支援総合サイトリーフレット
- ・両立支援のひろばリーフレット
- ・仕事と育児カムバック支援サイトリーフレット

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20220221084231.html>

【熊本市】

1. 毎年3月の第2木曜日は「世界腎臓デー」

慢性腎臓病（CKD）予防のために

日本人の8人に1人は慢性腎臓病（CKD）という腎臓の働きが低下した状態にあると言われていています。

慢性腎臓病（CKD）の早期発見、早期対応のためには、「尿検査」、「血液検査」、「血圧測定」が重要です。

あなたの大切な腎臓を守るため、腎臓のことを知って、慢性腎臓病（CKD）の予防、悪化防止のために行動しましょう。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20220226140716.html>



労災疾病等医学研究普及サイトの御案内 「予防医療モデル事業」

労働者健康安全機構の治療就労両立支援センターでは、勤労者の疾病の予防・増悪の防止を目的として生活指導、運動指導、栄養指導といった予防医療活動を行っており、活動を通じて収集した事例データを基に、次の5つのテーマに関する「予防医療モデル調査研究」を行っています。

- (1) 生活習慣に伴う疾病（メタボリックシンドローム、高血圧、喫煙、飲酒など）
- (2) 作業動作に伴う運動機能障害（関節痛、腰痛、頸肩腕症候群など）
- (3) 高齢勤労者特有の健康障害（ロコモティブ症候群、サルコペニアなど）
- (4) 勤労女性特有の健康障害（更年期、ライフステージ、勤務形態など）
- (5) ストレス又は不眠（睡眠障害など）

これまでに、運送系企業のドライバーを対象とした腰痛予防の研究や、握力トレーニングで高血圧患者の血圧が下がるかの検討等、様々な研究を行ってきました。これらの研究成果は、産業保健総合支援センター等を通じて普及させ、事業場や労働者にご活用いただいております。

一例として、東京労災病院治療就労両立支援センターの管理栄養士が行った「交代勤務者及び深夜業務におけるコンビニメニューの選び方に関する指導法の調査・研究、普及」の研究成果として作成したハンドブックは、情報誌「産業保健21」で紹介後、産業医のツイートをきっかけにSNS上で大きな話題となり、マスコミでも取り上げられました。

このハンドブックは産業保健総合支援センターで活用しているほか、機構ホームページでも公開しており、どなたでもダウンロードが可能です。ハンドブックを含めた過去の研究の成果物（リーフレット等）および現在進行中の研究については、以下をご覧ください。

★予防法・指導法の一覧はこちら

<https://www.research.johas.go.jp/yobou/>

なお、各予防法・指導法をご覧になり、職場での講習会等で当機構の出張講演を希望される場合は、下記連絡先までご連絡ください。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、状況によっては出張講演に対応できかねる場合がございます。予めご了承ください。

労働者健康安全機構
勤労者医療・産業保健部勤労者医療課 勤労者医療班
(Tel) 044-431-8641

◇ コラム「熱闘スポーツ観戦」

ここ2・3年新型コロナウイルス感染によりまん防適用等で、いまだに以前のよう
な平穏な日常生活を送れない日々の自粛生活が求められ続けている。

そんな最中、昨年は自国日本で57年ぶり開催となる東京オリンピックが206ヶ国
の参加により夏季開催、今年は隣国、中国での北京オリンピックと冬季でスポーツ
の祭典が2年続けて開催・閉幕した。

近年、スポーツ熱が盛んな時代になり、どの競技をテレビ観戦しようかと放映時
間に多種多様な競技の多さにチャンネル選択を迷ったもので、自身は当然、過去長
野等、オリンピックを生で会場での観戦をしたことは無く、生で観戦は学生時代に
プロ野球観戦やプロレス観戦とホーム観戦した程度。それはそれで熱闘を感じ、そ
れなりに隣の客と仲良くなり楽しみ方もあった時代。

さて、過去ロスオリンピック開催期の女子マラソン出場選手が国の代表を背負っ
て出場したにもかかわらず、途中棄権したために世間から非難を浴びた時代があっ
た。

このオリンピックに限らずではあるものの日本選手の活躍やメダル獲得者の勝者
と競技に一生懸命競技に取り組んだ結果での敗者達の表情に、感動をもらう場面が
この冬季オリンピックでもあったものの、勝者だけが日の目を見、敗者は先述の女
子マラソン選手のように良い評価は得られず、結果論としてその時の成績しか残ら
ないのも致し方ない時代になってしまった感が否めない。またこの冬季の日本スキ
ージャンプ団体チームのスキースーツでの規定違反によるその後のチーム一丸と
なった成績、女子フィギアスケートでの少女の薬物ドーピング疑惑による上位成
績。どれも賛否はあるもののその状況下での精一杯の結果で感動を与えてくれたの
も印象に深い。

余談ではあるもののある国の象徴とされるお方が、意見表明は人の心や立場を傷
つけることも・・・尊重しあえる寛容な社会が・・・等、一般論として述べられて
おられる。

スポーツの社会に限らずどの社会でも当てはまる事だが、ともあれ今年はサッカ
ーWカップの4年に一度の当たり年でもあるので、また日本選手出場確定後の活躍
は勿論の事、世界のプレイで感動・一時的ストレス発散をさせてくれる事が待ち遠
しいスポーツ観戦、今日この頃である。

産保センター 職員

◇ 編集後記

みなさん、3月生まれの公務員である熊本県の部長さんをご存知でしょうか？
ピンとこられた方もおられると思いますが、その方の名前は「くまモン」です。
2011年3月の九州新幹線全線開業をきっかけに生まれた「くまモン」は、全線
開業日の3月12日が誕生日です。
少し「くまモン」について触れてみましょう。

性別：オスじゃなくて男の子！

年齢：ヒミツ（5歳というのは都市伝説）

性格：やんちゃで好奇心いっぱい

とくいわざ：くまモン体操とサプライズを見つけて広げること。

仕事：熊本県知事から熊本県の「営業部長兼しあわせ部長」に抜擢。

くまもとサプライズを広めることで大好きな熊本の魅力をみんなに伝える

